

関係者各位

日本老年学的評価研究（JAGES：Japan Gerontological Evaluation Study）の研究成果についてのプレス発表を下記の通り開催いたしますので、お知らせいたします。
（JAGESの概要につきましてはホームページ https://www.jages.net/about_jages/ をご覧下さい）

なおJAGESのプレス発表会は「ZOOM」を用いてのオンライン開催となります。
当日の参加方法・URL等に関しましては、ホームページからの参加申込み完了後に詳細をご案内いたしますので、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時 2026年6月30日（火） 12:00～13:15（予定）
2. 場所 「ZOOM」を用いてのオンライン開催
3. 内容

- ① 515-26-12（小林周平）
暮らしの中の生鮮食料品店が、高齢者のウェルビーイングに重要
～約3万人の追跡データから検証～
- ② 516-26-13（森田彩子）
暑い日が増えると認知症になる可能性が高まる
～5～9月に暑い日が例年と比べて30日増えると、認知症を発症する可能性が1.4～2.5倍に～
- ③ 517-26-14（柴田めぐみ）
緑茶を1日4杯以上飲むと幸福感が高い！！
～1か月に会う友人の人数も重要な役割を果たしていた～
- ④ 518-26-15（井手一茂）
通いの場参加者は健康寿命喪失リスク12%低い
～特に女性、後期高齢者、低学歴・所得、就労なし、独居、農村居住者で関連強い～
- ⑤ 519-26-16（井手一茂）
住民主体運行のグリーンスローモビリティ利用で、1年後のうつスコア低下、助け合い・外出増加
～千葉県松戸市の高齢者約4,000人の1年間追跡調査～
- ⑥ 520-26-17（野口泰司）
包摂的で認知症フレンドリーな地域ほど家族介護者の抑うつ症状が低い
～145地域・1万人の高齢者を分析～

※下記⑦のプレスリリースはJAGESデータを用いた研究ではありませんが、
関連が深い内容につき、今回の発表会にて併せて皆さまにご案内させていただきます。

- ⑦ R38-26-1（千嶋巖）
子ども時代に地域での良い経験が多い人では、成人後の精神疾患が約半分
～約2.8万人の調査から、家庭内と家庭外の良い経験の違いを検討～

次ページへ続く

4. 発表者 (発表順)	代表 尾島 俊之	(一社)日本老年学的評価研究(JAGES)機構	代表理事
		浜松医科大学 医学部医学科 健康社会医学講座	教授
	小林 周平	千葉大学 予防医学センター	特任研究員
	森田 彩子	東京科学大学 公衆衛生学分野	准教授
	吉里 心希	浜松医科大学 健康社会医学講座	研究員
	井手 一茂	千葉大学 予防医学センター 健康まちづくり共同研究部門	特任准教授
	野口 泰司	浜松医科大学 健康社会医学講座	助教
	千嶋 巖	生協ふたば診療所 獨協医科大学医学部公衆衛生学講座	協力研究員

5. 参加申し込み方法

JAGESホームページ（下記URL）の登録フォームからお申し込みをお願いいたします。

【プレス発表会登録フォーム】https://www.jages.net/about_jages/press/participation/

その他、お問合せ等はこちらで承ります <JAGESプレス係> press.ml@jages.net